

2017年12月期 第3四半期

決算説明資料

株式会社オロ 証券コード:3983





- 2017年12月期 第3四半期 決算概要
- ○2 事業の状況
- ○3 参考資料

2017年12月期 基本方針



ビジネスソリューション事業

研究開発投資を通じて製品力の強化

─ コミュニケーションデザイン事業

グローバル案件の取り組み強化 事業に隣接した新規サービスの創出



2017年12月期第3四半期 決算概要



2017年	決算概要	
売上高	2,790 百万円	前年同期比 22.1% 増
営業利益	562 百万円	前年同期比 28.9% 增

当社グループの業績について、売上高については堅調に推移し、営業利益については順調に推移しております。

ビジネスソリューション事業			
売上高	1,386 百万円	前年同期比 30.2% 增	
営業利益	500百万円	前年同期比 45.3 %增	

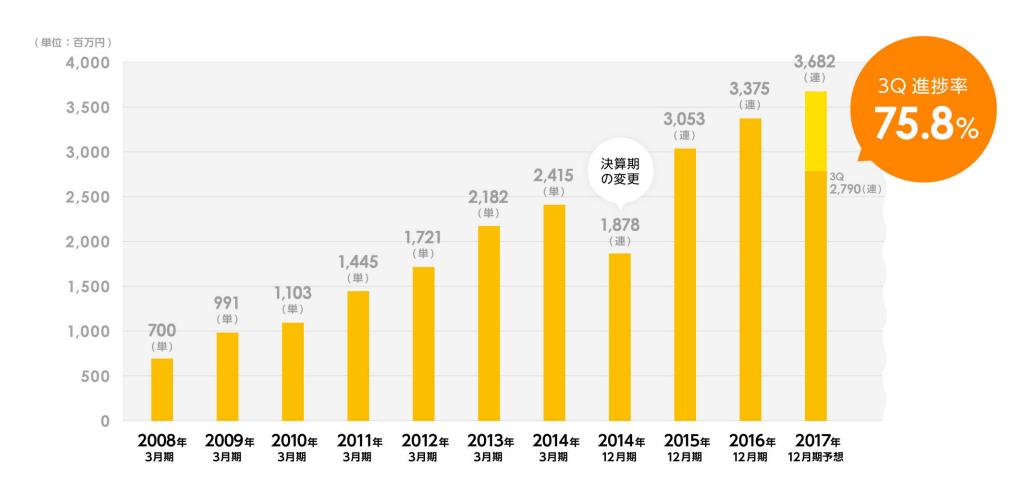
新規顧客獲得が好調であったことから、売上高、営業利益ともに順調に推移しております。

コミュニケーションデザイン事業			
売上高	1,403 百万円	前年同期比 15.0 % 增	
営業利益	62 百万円	前年同期比 32.2% 減	

売上高については、計画に沿って堅調に推移いたしましたが、営業利益については、外注費の増加や特定の案件における損失の影響のため、減益となりました。

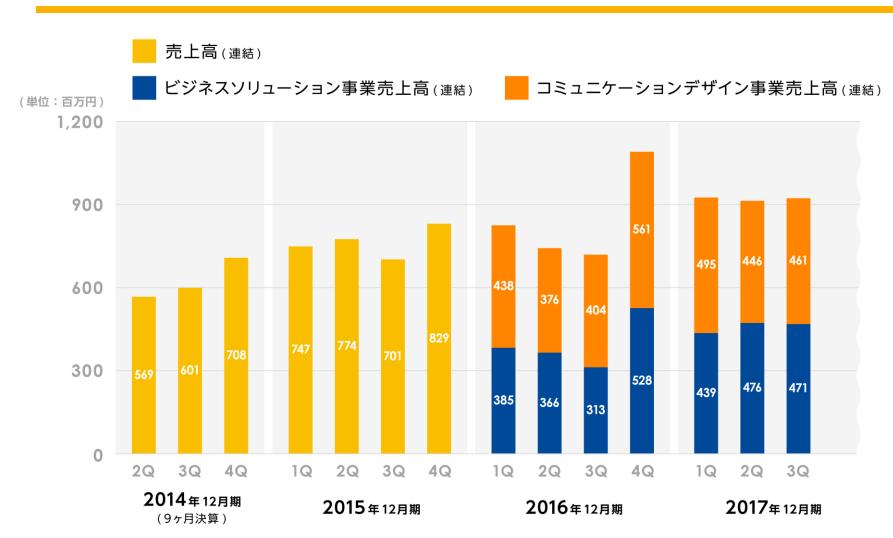
売上高推移





※2008年(10期)~2014年(16期)は監査を受けておりません。

四半期売上高推移



※2015年12月期以前のセグメントごとの四半期売上高については有限責任あずさ監査法人の監査を受けておりません。

7

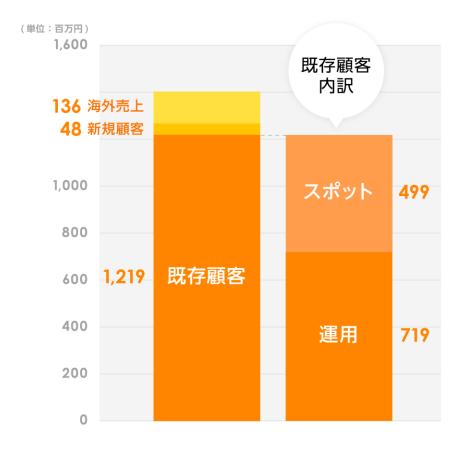
セグメント別売上構成



ビジネスソリューション事業

コミュニケーションデザイン事業







売上高は堅調に進捗、営業利益は順調に進捗

	通期業績予想	2017年12月期3Q	進捗率
売上高	3,682 百万円	2,790 百万円	75.8 %
営業利益	678 百万円	562 百万円	82.9%
経常利益	664 百万円	546 百万円	82.2 %
_{親会社株主に帰属する} 四半期純利益	460 百万円	350 百万円	76.2 %

損益計算書(前年同期比)

oRo co.,ltd.

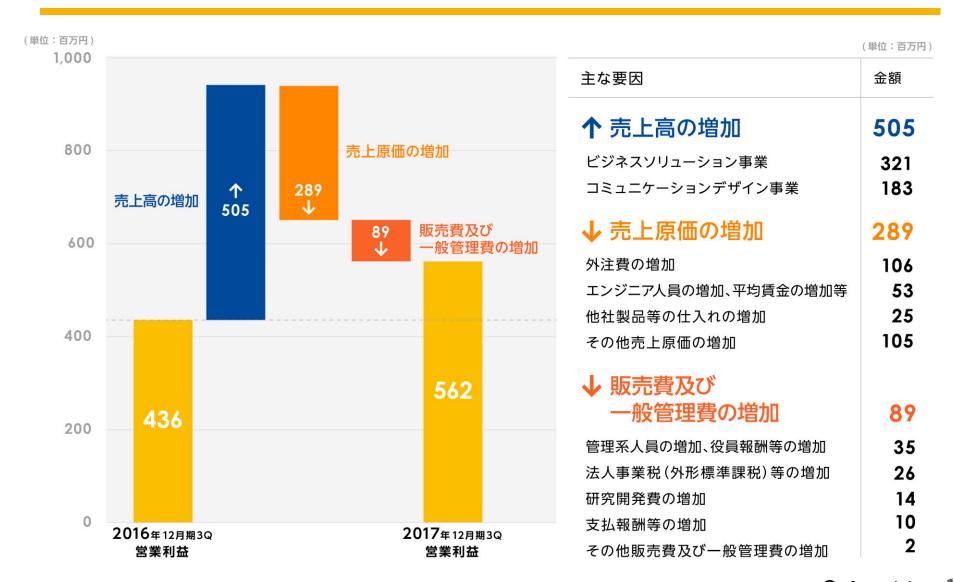
- コミュニケーションデザイン事業における外注費の増加
- 2 エンジニアの増員や平均報酬増加
- ③ 他社製品等の仕入れの増加
- 🗿 管理系人員の増加等や事業税の増加
- 5 上場に伴う支払報酬、手数料の発生

(単位:百万円)

	2016年12	2月期3Q	2017年12月	期3Q	前年同期比		
金額 構成比		構成比	金額	金額構成比		増減率	
売上高	2,285	100.0%	2,790	100.0%	505	22.1%	
売上原価	1,125	49.2%	1 2 3 1,414	50.7%	289	25.7%	
売上総利益	1,160	50.8%	1,376	49.3%	216	18.6%	
販管費	724	31.7%	4 813	29.2%	89	12.4%	
営業利益	436	19.1%	562	20.2%	126	28.9%	
経常利益	480	21.0%	5 546	19.6%	65	13.6%	
_{親会社株主に帰属する} 四半期純利益	316	13.8%	350	12.6%	34	10.8%	

営業利益の変動要因(前年同期比)





貸借対照表(前期末比)



- ① 公募増資による現金及び預金の増加
- 2 新株発行に伴う資本金、資本準備金の増加

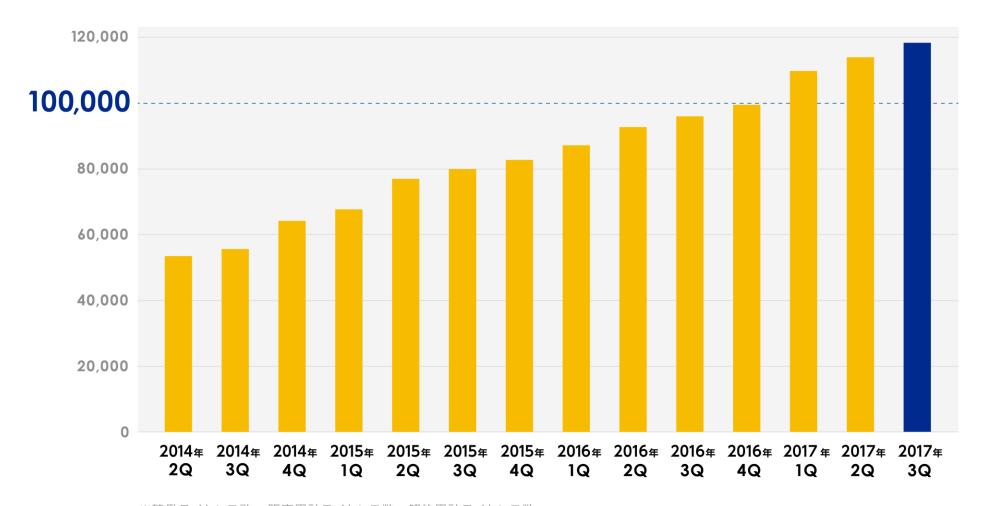
(単位:百万円)

科目名	2016年12月期	2017年12月期3Q	増減額	科目名	2016年12月期	2017年12月期3Q	増減額
流動資産	2,312	4,785	2,472	流動負債	626	582	▲ 43
固定資産	248	276	27	固定負債	-	-	-
有形固定資産	89	108	19	負債合計	626	582	▲ 43
無形固定資産	47	44	▲3	純資産	1,934	4,478	2,544
投資その他資産	110	122	12	株主資本	1,919	2 4,460	2,540
				その他の 包括利益累計額	14	17	3
				非支配株主持分	0	0	0
資産合計	2,560	5,061	2,500	負債純資産合計	2,560	5,061	2,500

事業の状況

「ZAC Enterprise」稼働ライセンス数推移





※稼働ライセンス数 = 販売累計ライセンス数 - 解約累計ライセンス数

「ZAC Enterprise」プロモーション実施例





「長時間労働是正」対策セミナー開催 17.09.06 OBC社と共催



IPO Forum 2017に登壇 17.09.14 OBC社他数社と共催



経営者向けセミナー開催 17.09.13 トップマネジメント社と共催

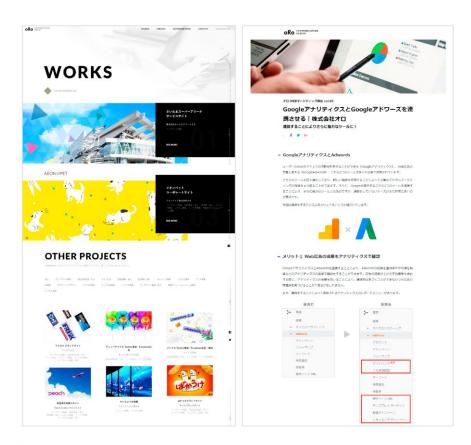


「ZAC Enterprise通信」を発刊

コミュニケーションデザイン事業

プロモーション実施例





サービスサイトのコンテンツ拡充 オウンドメディア発信・メルマガの発行



ad:tech kyotoスピーカーとして登壇 17.07.18 [SNSの活用とネット広告の活用ケーススタディ]

グローバル案件の取り組み強化









中部運輸局 台湾FIT誘客プロジェクト



剣淵町 台湾絵本プロジェクト

| 各国向けプロモーション強化 | 地方自治体案件の取り組み強化



立会外分売を実施

株式の流動性向上と投資家層の拡大のために 立会外分売を実施

分売実施日 17.09.07

株数 162.000株

分売価格 1,372円

個人投資家向け 説明会の実施



個人投資家への認知度向上のために 個人投資家向け会社説明会を実施

17.09.06 SBI 証券 「個人投資家向けオンライン会社説明会」 17.09.14 フィスコIR 主催 「個人投資家向けセミナー」 登壇 17.09.19 野村證券 梅田支店 「個人投資家向け会社説明会」 17.09.27 野村證券 札幌支店 「個人投資家向け会社説明会」

参考資料

会社概要



会社名 株式会社オロ

証券コード 3983

代表者 代表取締役社長 川田 篤

設立 1999年1月20日

本社所在地 東京都目黒区目黒3-9-1 目黒須田ビル

事業内容 ビジネスソリューション事業

・クラウドERP「ZAC Enterprise」の開発・販売

コミュニケーションデザイン事業

・デジタルを基軸としたマーケティング支援

拠点 東京本社 西日本支社 中部支社 北海道支社

グループ会社 株式会社オロ宮崎

欧楽科技(大連)有限公司 欧楽科技(大連)有限公司上海分公司

欧楽科技(大連)有限公司 広州分公司 大連奥楽広告有限公司 台灣奥樂股分有限公司

oRo Malaysia Sdn. Bhd. oRo Vietnam Co., Ltd. oRo (Thailand) Co., Ltd.



世界企業を目指して



社員全員が世界に誇れる物(組織・製品・サービス)を創造し、より多くの人々(同僚・家族・取引先・株主・社会)に対してより多くの「幸せ・喜び」を提供する企業となる。 そのための努力を通じて社員全員の自己実現を達成する。



クラウド型統合業務システム 「ZAC Enterprise」の提供

デジタルマーケティング支援



「ZAC Enterprise」とは



販売管理や勤怠管理などの複数のシステムをクラウドで統合し 業務効率の向上と的確な経営判断を支援

ホワイトカラーの生産性向上に貢献





「ZAC Enterprise」で解決できる経営課題



1 月次決算の 早期化

経理業務のシステム化により、 経理作業・月次決算を大幅早期化

3 プロジェクト 収支の可視化

プロジェクト収支を正確かつ タイムリーに把握し、収支 向上を実現

5 未来の売上・ 利益予測

営業の見込段階から情報を 一元入力することで、 フォーキャスト分析を実現

2 システム統合による業務効率化

システム統合により重複入力 を無くし、業務効率化、フロー 標準化を実現

4 個別原価計算の 自動化

労務費・間接費配賦など仕掛 計算のシステム化により、 原価計算を省力化

6 管理会計に もとづく経営判断

豊富な管理会計レポートを 迅速に出力、的確な経営判断 をサポート

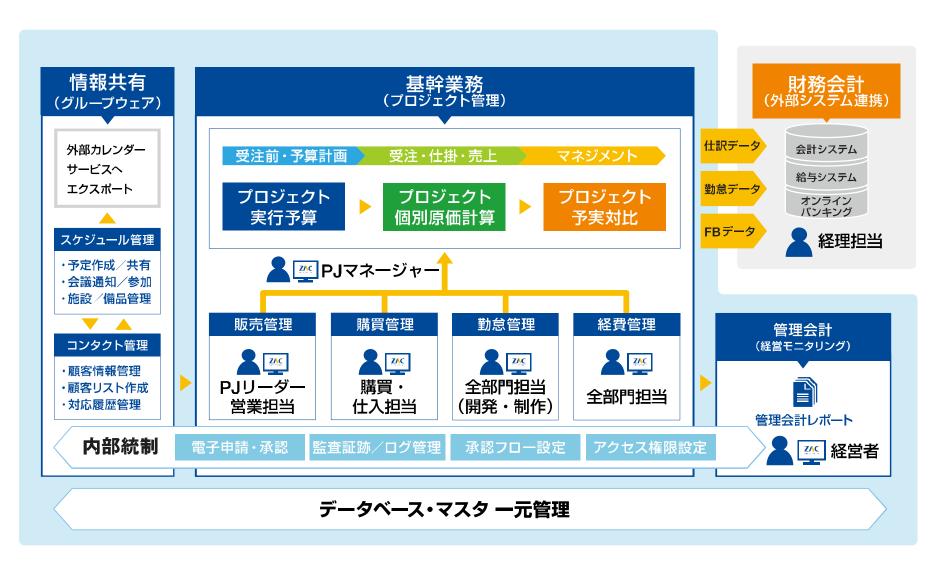
業務オペレーションの 効率化

プロジェクト 管理レベルの向上

管理会計にもとづく 的確な経営判断

「ZAC Enterprise」の主要な機能





日本企業に求められる『働き方改革』



▼ OECD加盟国の労働生産性(時間当たり)

① ルクセンブルク	95.0
② アイルランド	87.3
③ ノルウェー	81.3
④ ベルギー	70.2
⑤ 米国	68.3
⑥ フランス	65.6
⑦ ドイツ	65.5
15 英国	52.0
⑯ イタリア	51.9
20 日本	42.1
30 韓国	31.9

ホワイトカラーの 労働生産性向上がキー

業務効率化

経営の見える化

単位:購買力平価換算USドル

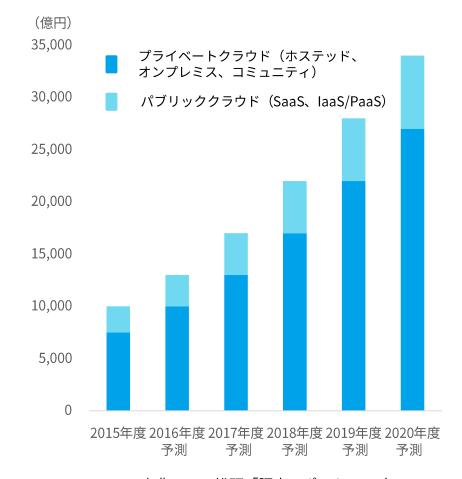
出典:日本生産性本部「労働生産性の国際比較 2016年版」

「ZAC Enterprise」を取り囲む市場環境



▼ 世界のクラウドサービス市場 (億ドル) 3,000 Infrastructure as a Service (IaaS) Cloud as a Service (CaaS) 2,420 2,500 Platform as a Service (PaaS) 2,006 Software as a Service (SaaS) 2,000 1,593 1,500 1,229 931 1,000 604 500 64 38 32 0 2015 2017 2014 2016 2018 2019

▼ 国内のクラウドサービス市場



出典:総務省「平成28年版情報通信白書第1部/IHS Technology」

予測

予測

予測

予測

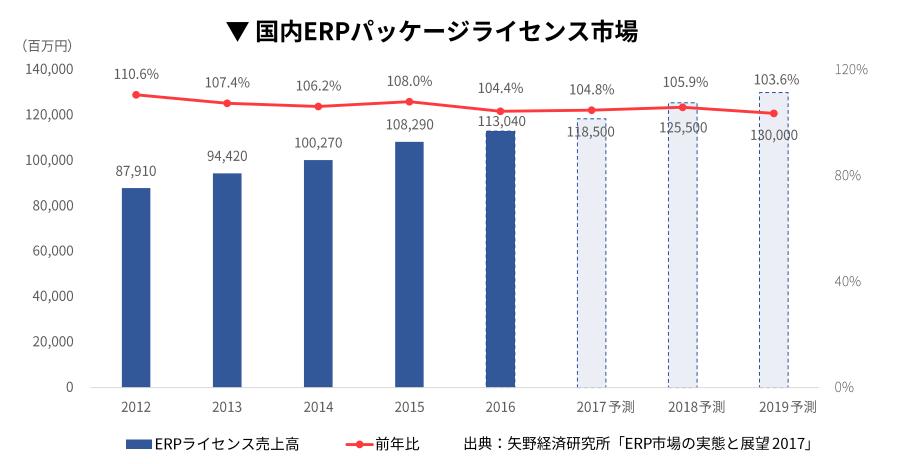
出典:MM総研「調査レポート2016年」



「ZAC Enterprise」を取り囲む市場環境

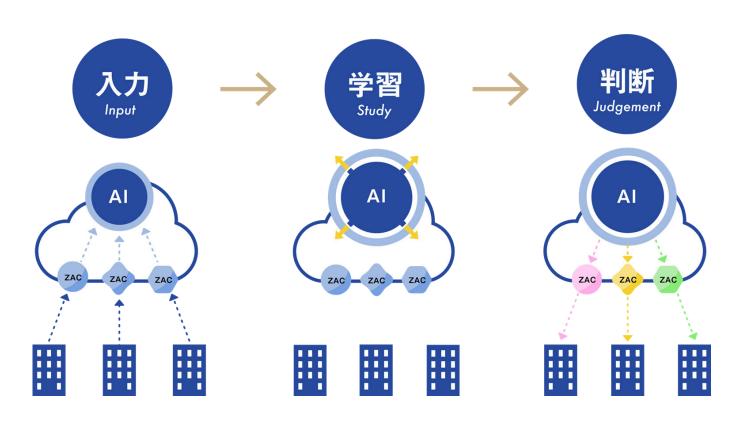






「ZAC Enterprise」 AI 技術の取り入れ





Phase1. 機械学習を使って入力効率化の支援

Phase2. AIによる人間の意思決定を支援

テクノロジーを活用したマーケティング支援



ワンストップフルサービスの提供





デジタル広告・インバウンド市場環境



▼ 国内インターネット広告費

▼ 訪日外国人旅行者数・出国日本人数



出典:電通「2016年日本の広告費」



出典:観光庁出入国数日本政府観光局(JINTO)

豊富な実績



▼大型サイトの構築・運用

小林製薬



さいたまスーパーアリーナ



AEON PET



▼海外案件

中国:

永旺美思佰乐(青岛)商业有限公司様



▼インバウンド施策

マレーシア: 自治体のプロモーションイベント



▼IoTの活用

ショッピングモールでのイベント



マーケティング領域のサービス開発へ



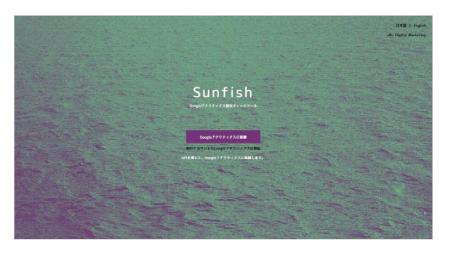
クラウド型セキュリティサービス「WAF BENKEI」



2017.5.11リリース

サイバー攻撃をアプリケーションレベルで防止する クラウド型Web Application Firewallサービス

Googleアナリティクスの設定の 自動チェックサービス 「Sunfish」



2016.7.12リリース

無料で利用できるGoogleアナリティクス設定 チェックツール、GA Technology Partnersに認定



1. 既存事業のさらなる伸長

クラウド型統合業務システム領域でNo.1を目指す デジタルマーケティングの総合支援企業として強化 インバウンド需要、海外戦略への対応拡大

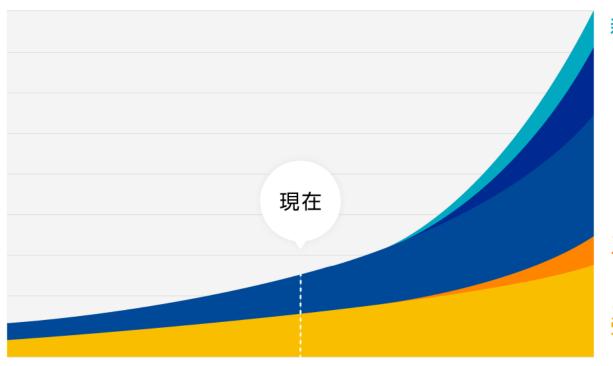
2. 新規事業への挑戦

テクノロジーとクリエイティブの力で、第3、第4の新しい事業 領域の創出

3. 世界企業を目指して

企業与信を高め、経営理念である世界企業を目指して組織を強化

各事業の強みを双方で活かし、最先端技術を活用した 新規事業を創出し、安定的急成長を目指します



新規事業売上

ビジネスソリューション海外売上

ビジネスソリューション国内売上

コミュニケーションデザイン サービス売上

コミュニケーションデザイン 受託売上

本資料の取り扱いについて



- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計 原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- なお、本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、 いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。